

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市大畑町土地利用計画	階数	地上3F
建設地	大阪府高槻市大畑町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,732 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年11月11日
敷地面積	2,976 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 北摂支
建築面積	1,739 m ²	確認日	2019年11月11日
延床面積	3,271 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 北摂支社 建築一級建築士事務所 丸山 翔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>物販店舗の売場の天井は高く、利用者にとって開放感のある空間としている。又、多数の人が使用・利用する部分の内装材には、防汚性の高い建材を使用し、維持管理に配慮した設計となっている。</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>防汚性の高い内装材の使用など、維持管理に配慮した設計となっている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>壁面緑化をしている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上げ材が容易に分別可能な建材を採用し、部材の再生利用に配慮した</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な量の駐輪場、駐車場を確保することで交通負荷抑制に配慮した</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0109

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市大畑町土地利用計画						
	建設地	大阪府高槻市大畑町						
	用途/区分	物販店 飲食店 集会所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.0	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							